（第３種郵便物認可）　上毛

サル山長期7年目政権

桐生が岡動物園

サル知恵？を駆使して、第1位オス（ボス）の座は安泰。桐生市の桐生が岡動物園のサル山で、毎秋繰り広げられる権力闘争に決着がつき、八代目ボスのユウタロウ（十六歳）が、引き続きボスとして君臨することになった。ユウタロウの統治は七年目に入り、これまで最も長期政権（六年半）を誇る歴代ボスの記録を半年後に抜き、「最長不倒」をうかがう豊作ぎさた。

サル知恵？で抗争サバイバル

8代目ボス　ユウタロウ

リュウタロウ首相も見習いたい…

ボスの座を守ったユウタロウ（左）

サル山が開園したのは一九七七年春。七九年から八六年までサル山に君臨したヨシユキの死後、恋の季節（発情期）となる毎年秋に、けがや流血を伴う権力抗争が続いた。ユウタロウが登場するまでのわずか五年間に四代の政権交代劇があったほど。

ユウタロウが八代目ボスに就いたのは九一年春。以後、争いには直接加わらず高みの見物を決め込み、ライバルたちが互いに傷つけ合い脱落していく間隙（かんげき）を縫う身の処し方で、権力闘争を勝ち抜いてきた。

サル山の抗争劇を見守ってきた同動物園関係員らによると、今年のボス争いは例年より早めの八月下旬にスタート。体力十分の若手で怖いもの知らずの剛腕ライブのリキ（七歳）が示威行動を始めた。九月に入ると、権力闘争が本格化、堅実型でボス候補最有力とされたヤスヒロ（十四歳）を筆頭にリキ、カツシ（十四歳）、ユウタロウ（十三歳）、サツマ（七歳）ら二位以下のオスたちが連日激しい争いを続けた。

こうしたなか、十月十三日に事態が急変。ヤスヒロが急死しているのが確認された。死因は傷からの失血死。ユウタロウの最大のライバルが消えた。十二月に入っても二位以下をめぐる争いが続き、互いに傷つけあうなか、メスのハ気は、ユウタロウに集まり、十二日までにボスの座を確定したという。

今秋も争いの輪の外に身を置き、結果として、一八勝ちしたユウタロウ、不敗のまま終えなければ、次の権力争奪が始まる来年度はボスの座を守りそうで、当分の間、「天下」が続くとみられている。

前橋市・オルビエート市　友好都市　記念祝賀会

東西交流新たな文化を

各界のリーダー　新しい一歩祝う

イタリア祭

前橋市とイタリア・オルビエート市の友好都市提携調印が行われた十二月、前橋市内では市民三百人が参加して記念祝賀会が催された。中心商店街のイタリア祭では、イタリア映画上映会などが市民の人気を集め、オルビエート市のステファノ・チミッキ市長を囲んだ交流事業も盛り上がりをみせている。きょう三日はイタリア祭の一環で、カンツォーネのペ・ペとバレエ公演、料理教室、サッカーリフティング大会など、さまざまな市民参加イベントが開かれる。

記念祝賀会で友好を誓いあう両市関係者

友好都市提携の調印を受け、ステファノ・チミッキ市長をはじめ、前橋市主催の記念祝賀会が前橋・マーキュリーホテルで開かれた。蔡原弥恵子・前橋市長、両市長はじめ、前橋国際交流協会の関係者、両市の新しい一歩を祝った。

祝賀会は群馬県内各種団体のリーダーら三百人以上が出席し